

東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛の訂正

PC橋架設工

工種名	誤	正																																												
PC 工架設工 表 5. 4	5-2-3 コンクリート工歩掛 型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。 <p style="text-align: center;">表5.4 コンクリート工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁形式</th> <th colspan="4">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑费率(%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>型わく工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレテンションT桁, ポストテンション桁</td> <td>3.22</td> <td>4.44</td> <td>10.33</td> <td>10.11 (8.33)</td> <td>9 (7)</td> </tr> <tr> <td>プレテンション床版桁</td> <td>1.78</td> <td>1.89</td> <td>2.78</td> <td>4.33 (2.67)</td> <td>10 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間は、コンクリート10m³当り1.67時間とする。 2. 歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、又は現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は、90~100m³/hとする。 3. 配管打設の場合の圧送管組立・撤去労務(30m程度)を含むものとし、30mを超える場合は「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は、打設高さ、15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は、36m³を標準とする。 6. 諸雑費は、型枠用材料、はく離剤、養生マット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 養生については、養生覆材の被覆・水散布養生を標準とする。養生面積は、間詰床版の面積とする。給熱養生等の特別な養生を必要とする場合の普通作業員の歩掛及び諸雑费率は、()内の値とし、養生費用は別途計上する。</p>	桁形式	編成人員(人)				諸雑费率(%)	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁, ポストテンション桁	3.22	4.44	10.33	10.11 (8.33)	9 (7)	プレテンション床版桁	1.78	1.89	2.78	4.33 (2.67)	10 (5)	5-2-3 コンクリート工歩掛 型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。 <p style="text-align: center;">表5.4 コンクリート工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁形式</th> <th colspan="4">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑费率(%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>型わく工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレテンションT桁, ポストテンション桁</td> <td>3.22</td> <td>4.44</td> <td>9.3</td> <td>10.11 (8.33)</td> <td>9 (7)</td> </tr> <tr> <td>プレテンション床版桁</td> <td>1.78</td> <td>1.89</td> <td>2.5</td> <td>4.33 (2.67)</td> <td>10 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間は、コンクリート10m³当り1.67時間とする。 2. 歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、又は現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は、90~100m³/hとする。 3. 配管打設の場合の圧送管組立・撤去労務(30m程度)を含むものとし、30mを超える場合は「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は、打設高さ、15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は、36m³を標準とする。 6. 諸雑費は、型枠用材料、はく離剤、養生マット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 養生については、養生覆材の被覆・水散布養生を標準とする。養生面積は、間詰床版の面積とする。給熱養生等の特別な養生を必要とする場合の普通作業員の歩掛及び諸雑费率は、()内の値とし、養生費用は別途計上する。</p>	桁形式	編成人員(人)				諸雑费率(%)	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁, ポストテンション桁	3.22	4.44	9.3	10.11 (8.33)	9 (7)	プレテンション床版桁	1.78	1.89	2.5	4.33 (2.67)	10 (5)
桁形式	編成人員(人)				諸雑费率(%)																																									
	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																										
プレテンションT桁, ポストテンション桁	3.22	4.44	10.33	10.11 (8.33)	9 (7)																																									
プレテンション床版桁	1.78	1.89	2.78	4.33 (2.67)	10 (5)																																									
桁形式	編成人員(人)				諸雑费率(%)																																									
	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																										
プレテンションT桁, ポストテンション桁	3.22	4.44	9.3	10.11 (8.33)	9 (7)																																									
プレテンション床版桁	1.78	1.89	2.5	4.33 (2.67)	10 (5)																																									